

受付番号

2024-24

許可番号

大歯医倫 第 111355 号

研究課題名

「よく噛む」ことが高齢期の健康に及ぼす影響の包括的探索 —吹田研究 NEXT 歯科研究—

研究責任者

小野 高裕

申請者

小野 高裕

研究終了日

2033 年 12 月 31 日

所属

高齢者歯科学講座

所属

高齢者歯科学講座

職名

専任教授

職名

専任教授

申請の概要

咀嚼は、ヒトの一生を通じて行われる食物摂取に不可欠な行動である。近年、特に「よく噛む」と高年齢期の心身の健康との関連性が注目され、高年齢期における咀嚼機能低下は低栄養、フレイル、認知機能低下など数多くの問題を引き起こすことが報告されている。しかし、従来「よく噛む」「ゆっくり噛む」などの咀嚼行動は本人の自己申告に頼った評価が用いられることがほとんどであり、定量的な評価がなされてこなかった実情がある。そこで本研究では、地域住民を対象とし、ウェアラブル咀嚼回数計「bitescan (バイトスキャン)」を用いて咀嚼行動の定量的評価を行い、咀嚼を能力面と行動面から長期的にフォローアップすることにより、咀嚼並びにメタボリックシンドローム、循環器疾患、フレイル及び認知症の予防との関連をより詳細に明らかにすることを目的とする。なお、対象者の咀嚼行動測定ならびに認知症などのバイオマーカーを目的とした唾液や血液採取は本学にて実施する。

本研究で咀嚼能力ならびに咀嚼行動を定量的に測定することで、生活習慣病、フレイル、認知症のリスクを低下させるための具体的な口腔健康管理方針や食習慣行動変容目標を示せるようになるものと期待される。